

オープンカテゴリー

テーマ「ロボットで旅行の楽しさを伝えようーあなたの国や文化遺産をロボットで紹介」

1. ルール

- ・1チームとしてはレギュラーカテゴリーかオープンカテゴリーのどちらかだけに参加できる。
- ・競技は小学生・中学生・高校生部門の3つのカテゴリーで行われる。
- ・レゴ部品と他の材料との割合に制限はない。ただし、どのロボットも RCX または NXT コントローラーとなんらかのソフトウェアで制御されていなくてはならない。
- ・ロボットは事前に組み立てておいてよい。プログラムは事前に作っておいてよい。
- ・ブースのサイズは 2000mm×2000mm×2000mm である。
- ・テーブルのサイズは 1800mm×450mm (予定) である。
- ・オープンカテゴリー参加チームは次の過程を経ること。
 - ・最終組み立てとテスト
 - ・ポスターでブースを飾り付け
 - ・審判にデモンストレーションおよび審判からの質疑応答
- ・各チームはロボットの説明をまとめたレポートを提出すること。その中にロボットがどのようにユニークなのかを説明していること。
- ・紙で審判にレポートを提出すること。
- ・図・写真・ビデオなどで、異なる角度からのロボットと、プログラムの例を視覚的に説明する物を提出すること。
- ・各チームは登録の指示に従ってビデオを提出すること。(最大2分間)
- ・各チームは最低 1200mm×900mm のサイズのポスターを1枚以上ブースに貼り出すこと。ポスターは観客にロボットを紹介するものであること。

プレゼンテーション

1. 各チームに 10 分の持ち時間がある。5 分間でロボットの説明とデモンストレーション。残りの 2～5 分間で審判からの質疑応答。

カテゴリー別判定基準

1. ビデオ審査：合計 30 ポイント
 - ・デザインがテーマに沿っているか。
 - ・ロボットが創造的なデザインと構造であるか。
 - ・プレゼンテーションの質。
2. 最も創造的なデザイン 合計 40 ポイント
 - ・創造的な外見。
 - ・ユニークで複雑で相互作用的な動き。
3. 最も技術的なデザイン 合計 20 ポイント
 - ・工学的に優れている。
 - ・安定した構造。
4. 最も優れたプレゼンテーション 合計 40 ポイント
 - ・上手で安定感のあるデモ。
 - ・チームスピリットとエネルギーが高い。

WRO Japan2010 オープンカテゴリーVer.1.0

- ・プレゼンテーション、ポスター、レポートの明確な意図。

5. 減点ポイント 合計 30 ポイント

- ・RCX または NXT を未使用。
- ・ポスターなし。
- ・レポートなし。
- ・与えられた展示スペースの最大限を超えた場合。

明らかにテーマに沿っていない場合、最終得点として 0 点を付ける。